

法人理念

1. 視覚障がい者の自立支援
2. 視覚障がい者本意の生活支援
3. 開かれた経営
4. 障がい者福祉の一体活動
5. 地域と共に生きる福祉活動

沿革史

- 昭和18年 5月 柴内魁三を初代会長として「岩手県盲人会」発足
- 昭和25年 5月 盲人相互の親睦と福祉増進を目的に「岩手県盲人福祉協会」設立
- 昭和38年11月 厚生大臣から社会福祉法人認可を取得。「社会福祉法人岩手県盲人福祉協会」となる。第二種社会福祉事業として盛岡盲人ホーム(定員20名)を設置
- 昭和38年11月 大堂他人が初代理事長・2代目会長へ就任
- 昭和39年 4月 盛岡盲人ホーム(定員20名)事業開始
- 昭和44年 1月 付帯的公益事業として角膜移植事業を財団法人恵眼会から継承
- 昭和59年 6月 菅野長治が2代目理事長・3代目会長へ就任
- 昭和63年 3月 角膜移植事業を岩手恵眼会に移管、事務所移転
- 平成 2年 6月 桜井政太郎が3代目理事長・4代目会長へ就任
- 平成 4年 3月 岩手県視覚障害者福祉会館を建設
- 平成 4年 8月 「岩手県視覚障害者福祉協会」へ法人名変更
- 平成12年 6月 小島伸公が4代目理事長・5代目会長へ就任
- 平成13年10月 顧問制度を新設、総会を廃止
- 平成22年 4月 就労継続支援B型事業所「岩手マッサージセンター」へ名称変更
- 平成22年 6月 及川清隆が5代目理事長・6代目会長へ就任
- 平成23年 3月 岩手県視覚障害者福祉会館の耐震改修・増改築工事完了
- 平成23年 4月 盛岡市・滝沢村(当時)日中一次支援事業「ジャンプの家」事業開始
- 令和 元年 5月 同行援護事業所「岩手ガイドヘルパーセンターあゆみ」事業開始

現在に至る